

# 「スクール・バディ」活動 (中学生のみ)

ワークショップ④の最後に、「スクール・バディ」活動に参加する有志の生徒を募ります。生徒たちの多くは、つらいことがあった時。悩みを聞いてもらうのは、同じ年代の友達だといいます。「スクール・バディ」活動とは、生徒たちの主体的なピアサポートグループです。バディ・ルームという活動拠点を持ち、バディ・ルームに立ち寄る生徒の話を聴いたり、「映画制作」「演劇」「校内放送のDJ」「新聞・ポスターづくり」など、いじめを未然に防ぐための様々な企画を考ます。

## [生徒の声]

いじめられたことも、いじめたこともあります。でも、暴力がどれだけ人の心を傷つけるのか分かったから、この活動に参加しました。

.....

いままでクラスメートが孤立しているのを見ても何もできなかったけれど、仲間がいれば何か一言声をかけてあげることができるかもしれないです。

.....

友達から無視され悪口を言われ、相談できず辛い日々を過ごした時期がありました。平気だぞと言う顔はしていても、心の中では結構きつかったですね。だから、他の人よりは、いじめられている人の気持ちが分かると思う。いじめられている人が、自分の気持ちを打ちあけられるようなバディになりたいです。

.....

バディのみんなと出会ってから、いじめられた時のことを忘れて、何か新しい自分に変われたって感じがあります。やっぱり、いじめられたときは、ショックだったけれど… いじめる側って、実は、家庭の事情とかで、いろいろ悲しみを抱えている人もいるのかなって…

.....

バディになってみて、いままで目をそらしてきたことに、ちゃんと向き合っ、考えられるようになってきたと思います。ふらっと、立ち寄ってもらえるようなバディルームにしていきたいです。

